

熊本市秋津校区 地区防災計画 作成までの道のり

キーワード: 熊本地震、既存取り組みの活用、小学校との連携、地区への計画周知

熊本市秋津校区防災連絡会

熊本地震での被害状況

熊本市秋津校区は、熊本市内の東端に位置し、平成28年熊本地震で震度7の地震をわずか28時間の間に2度経験した益城町に隣接しており、市内で最も被害の激しい地区でした。被災時には、宅地などに甚大な被害が発生する中、他県からのボランティアの協力も得ながら、自治会を中心として避難所運営や安否確認などに努め何とか対応してきました。しかし、地震前に地区での明確なとり決めもなく、災害対応をする中で様々な課題が浮上する状態でした。



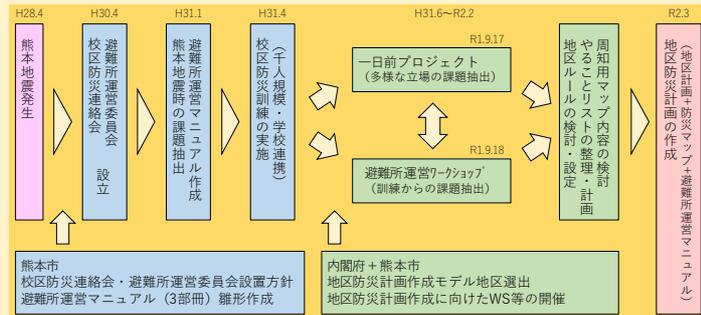
熊本地震からの復興（計画作成までの経緯）

秋津校区では、熊本地震から得た教訓を基に平成30年4月には、熊本市が主導する「校区防災連絡会」、「避難所運営委員会」を早期に設置し、熊本地震時の課題を踏まえた「避難所運営マニュアル」を作成し、平成31年4月には、秋津小学校の児童も含めた千人規模の「校区防災訓練」を実施しました。マニュアル作成・訓練を行う中で、避難所運営だけでなく避難行動時の課題や地震以外の災害（水害）が懸念されるのではないかと課題が浮上してきたこと、内閣府のモデル地区に選出されたことをきっかけに、既存の「避難所運営マニュアル」を核としながらも、地震時の避難所運営以外の課題も包括した「秋津校区地区防災計画」を作成するに至りました。

※校区防災連絡会・避難所運営委員会：熊本地震の教訓を基に、地域による避難所運営体制を整備するため作成された制度。各校区で設置されつつある。地域住民の他に、施設管理者、地域在住の市職員（避難所担当職員）から構成される。
 ※避難所運営マニュアル：「事前準備編」「避難所開設・運営編」「様式集」の3編からなるマニュアル。熊本市のマニュアルをたたき台として、地域の実情に合わせて避難所毎に作成されたもの。

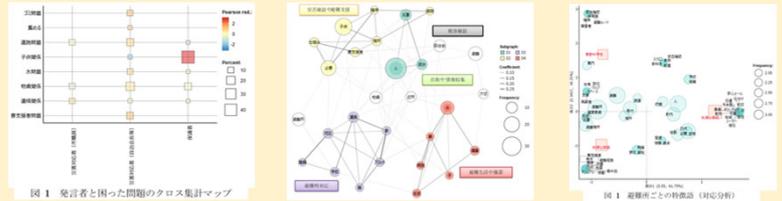


物資供給訓練の様子 千人規模の避難訓練の様子 避難所毎の訓練の振り返り ワークショップ等での意見

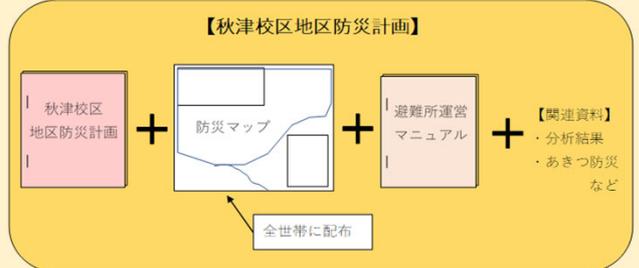


秋津校区地区防災計画の概要

秋津校区の地区防災計画は、熊本地震後に避難所毎に作成していた「避難所運営マニュアル」を基本としているが、地区のリスク特性や校区で話し合ってきた「校区ルール（避難所運営以外も含む）」、「やることリスト」を整理した「地区防災計画」、校区全住民へ「校区ルール」の周知を促す「あきつ防災マップ」の大きく3点から構成されている。また、熊本市で初めての地区防災計画の作成となるため、市全体のモデルとして活用できるよう参考資料として計画策定までの分析結果等についても整理している。



校区で抽出された課題			やることリスト（一部抜粋）		
課題	内容	対応	項目	内容	対応
避難所運営	避難所運営マニュアル作成	作成済み	避難所運営マニュアル	避難所運営マニュアル作成	作成済み
避難所運営	避難所開設・運営	作成済み	避難所開設・運営	避難所開設・運営	作成済み
避難所運営	避難所閉鎖	作成済み	避難所閉鎖	避難所閉鎖	作成済み
避難所運営	避難所利用	作成済み	避難所利用	避難所利用	作成済み
避難所運営	避難所管理	作成済み	避難所管理	避難所管理	作成済み
避難所運営	避難所周辺	作成済み	避難所周辺	避難所周辺	作成済み
避難所運営	避難所内	作成済み	避難所内	避難所内	作成済み
避難所運営	避難所外	作成済み	避難所外	避難所外	作成済み
避難所運営	避難所周辺	作成済み	避難所周辺	避難所周辺	作成済み
避難所運営	避難所内	作成済み	避難所内	避難所内	作成済み
避難所運営	避難所外	作成済み	避難所外	避難所外	作成済み



【校区ルール（今すぐ取り組むこと）】

【地震編】

- 【校区の防災力を向上するための校区ルール】**
 (平常時)
 ● 防災訓練の合同実施や防災関連の行事への参加、情報共有などを可能な限り行い、日ごろから小・中学校との連携を積極的に図る。
 (被災時)
 ● 緊急避難道路への、ゴミの廃棄や駐車を禁止を徹底する。
 ● 緊急の場合は、所有者に連絡が取れない場合でもガレキや車の移動を可能とする。

【洪水編】

- 【校区の防災力を向上するための校区ルール】**
 (平常時)
 ● 防災訓練の合同実施や防災関連の行事への参加、情報共有などを可能な限り行い、日ごろから小・中学校との連携を積極的に図る。
 ● 町内一斉清掃時に水路や河川の状況を点検する。
 (被災時)
 ● 緊急避難道路を確保し、早期の避難を実施する。
 ● 緊急時には校区外避難（校区より北側）を検討する。

